

〈第1回グローバル人材招聘授業：きっかけ番長てんつくマン〉

琴海中学校は「グローバル人材の育成」という研究を令和8年度から3年間取り組むことになりました。「グローバル人材」とは「世界とつながり、多角的なものの見方・考え方ができ、地元への愛着を持つ人材」です。今年度は、広い世界で活躍する人たちに、お話を聞かせていただこうと思い、第1回は「きっかけ番長てんつくマン」をお呼びしました。講演後、子どもたちはてんつくマンさんに言葉を書いてもらいに校長室に押し寄せました。



【講演の概要】

- 1 自分の力に気づいていない人が使う言葉
「絶対無理」「難しい」「わからない」「怖い」「面倒くさい」
- 2 てんつくマンさん自身のお話
 - (1) 問いかけが大事
 - ◎ピンチを救ってくれるのは問いかけ。
 - ◎自分一人で考えるのではなく、相談したら楽になると思える人に相談する。
 - (2) 「絶対無理」に挑戦したら自信がつく。
 - ◎毎日フルマラソンに挑戦。→意外と慣れるものです。
 - ◎大事なことを決めるとき→自分の中心に手を当てて考える。
 - ◎うまくいかないとき→「昨日の自分を超えよう」と思う。
- 3 人生は楽しむとき、うまくいく。→ネガティブな情報より、楽しい情報を。
 - (1) 悪いことではなく「希望」の話をたくさん聞く。検索する。
 - (2) 「今自分に出来ることは何か」考え、行動する。
- 4 動けば変わる
 - (1) 誰かと一緒に考えよう。
 - (2) 「助けて」と言おう。

きっかけ番長 てんつくマン
元お笑い芸人で、今は講演や映画製作、社会活動などを通じて、「動けば変わる」というメッセージを伝えている人です。路上詩人として即興で言葉を書いたり、映画の監督やZPOの理事長をしたりしながら、行動するきっかけづくりを続けています。

【生徒の感想】

◎悩み事があると抱え込んでしまうのですが、てんつくマンさんのお話を聞いて、一人で悩んだり、自分を責めたりしているだけでは何も変わらないと思い、これからは誰かに相談したり、ポジティブになれるような問いかけをしたりしようと思いました。

◎てんつくマンさんの話でホッとしたことがあります。「助けを求めている」ということです。なかなか言えないのですが、私も「助けて」と言ってみようと思いました。

◎今までの自分は「無理」「めんどくさい」などダメなワードを使っていて全然動いていませんでした。何があるか分からないので、笑顔でたくさん挑戦して「動く」ということを大切にして、楽しく生きていこうと思いました。